

比べる



教育出版の『中学書写』は

自ら考え

仲間と伝え合い

生きてはたらく

書写力を育てます。

解決方法を
見とおす



活用
する



自分の文字を教材文字と「比べる」

課題を見つけ、解決方法を「見とおし」取り組む

他の文字に「活用」し、一般化する

その過程では、自分でじっくりと考えたり、仲間との対話をとおして気づいたりする。そんな学びを促し、支援する教科書です。

次の時代に向けた

文字文化と豊かに関わる

主体的な文字の使い手を

育てます。



生徒たちの身近な生活は、多様な表情の文字であふれています。校内には情報を伝える掲示板の文字、テスト前には学習内容が身につくようにと、一生懸命に書くノートの文字。そして『中学書写』の教科書を開いてみると、季節の行事で生きる力強い筆文字や、歴史上のあの人が書いた文字と出会うことができます。文字文化の世界がよりいっそう、豊かに広がります。

書くこと、気づくこと、感じることをとおして、

中学生の今とその先の文字体験を豊かにする教科書です。



和菓子の
包み紙



目次

育てたい力を実現するための、本書における工夫

- 1 「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」を系統的・段階的に見とおせる — 6 ページ
 - 2 知識・技能を確実に習得する — 小学校からの円滑な接続 — 8 ページ
 - 3 「ワイドな紙面」 — 確かな文字感覚が身につく — 10 ページ
 - 4 「学び方がわかる」 — 主体的・対話的で深い学びへ向かう羅針盤として — 12 ページ
 - 5 学習活動や日常生活で、生きてはたらく書写力を身につける — 14 ページ
 - 6 思考力をはたらかせて書く II 国語の表現力を高める — 16 ページ
 - 7 今日的な教育課題への対応 — 18 ページ
- 学習の可能性を広げ、柔軟に選べるラインアップ — 20 ページ
- 資料1 3年度用教育出版『中学書写』観点別特色 — 22 ページ
- 資料2 3年度用教育出版『中学書写』単元一覧表 — 26 ページ

表紙について

1年生で学習する『竹取物語』絵巻の一部と、高等学校の書道で学習する『高野切古今和歌集』の「い」「ろ」「は」の文字をモチーフにすることで、古典の世界、中学校の先に広がる豊かな文字文化の世界へと広がります。

